

花山梅林会 ボランティア奮闘記

花山小学 3年生の梅採り会



小学校の裏山に卒業生が記念植樹した梅の木約 850 本の梅林があり、今年もたわわに実をつけました。6月11日(月)、今にも泣き出しそうな空に学校より中止?の意向もありましたが、13時30分、3年生3クラス、約100名の生徒による「梅採り会」が敢行されました。

いざ、スタートとなると、生憎、しょぼしょぼと、雨が降りだしはじめました。でも、子どもたちは、引き寄せた枝から垂れるしずくをもものともせず、そのあっこうより奇声と氣勢に押され、われわれも頑張って、傘の柄や鉤のついた棒で、子どもたちの手が届くように枝を引っ張ってやり、それぞれ持ってきたレジ袋に一杯、梅の実を採取しました。

山全体に甘酸っぱい梅の香りと、子ども達の歓声が響き渡り、元気な子ども達の笑顔にパワーを貰った一日でした。

7月2日には、PTAの皆様の梅採りとジャム作りを予定しています。一般の方は6月23日、24日、午前10時から11時頃まで、「梅採り会」を開催いたします。来られる時には、足場が悪いのでしっかりした靴と高いところの枝についた実を採るのにコウモリ傘をお持ちください。皆様のご来園をお待ちしております。

(花山梅林会 徳原尚世)



たわわに実をつけた梅の木



「梅採り」の前に注意事項を説明



小雨について、全員裏山へ



「たくさん実がついている」と歓声



もうちょっとで実に手が届くの!



力を合わせて枝を手繰り寄せる子たち



みんな仲良く、梅の実を採取



たくさんの梅の実に、こぼれる笑顔



袋一杯の実を得意そうに、かざす子